

令和6年9月6日

○ 不祥事防止への取組

取手市立戸頭小学校  
校長 水ノ江 健

教職員による不祥事は、保護者の皆様や地域の方々の学校教育への信頼を著しく低下させる原因となっており、なんとしても根絶しなければなりません。そこで、本校では不祥事根絶に向けたコンプライアンスと厳正な校務執行のための教職員の意識改善や職場風土の改善をすべく、下記のように取り組んでいます。

記

**1 不祥事根絶をテーマとした校内研修を定期的実施しています。**

不祥事は、飲酒運転、体罰、わいせつ、セクハラ、公金の不適切な処理、情報漏洩、交通事故等々多岐にわたります。これらの各事案について、「服務規律確保に係る年間研修計画」を作成し、校内研修を実施しています。事例研究やグループ討議等を中心に、年間を通して、全職員が研修担当を分担することで、「自分事として」考え、実践できるよう研修を進めています。

**2 各不祥事ごとにチェックリストを用いて、定期的に点検をしています。**

不祥事の原因は何か、自分の行動や意識に問題は無いかな等を定期的に顧みる機会として、自己診断チェックを実施しています。継続した取組を行うことで、コンプライアンス意識を高め、不祥事の起こらない集団を作ります。

**3 不祥事関連の通知文や記事等を利用し様々な事例を職員全体で共有しています。**

校内研修とは別に、不祥事事案を含め学校教育に係る問題等について、日々の県教委からの通知文や新聞記事等から、ケーススタディとして教職員間で共有化を図っています。各自が「自分事として」捉え、事案の内容や処分内容等から、どのような事態になるかを想定し不祥事防止策としています。

**4 管理職による職員との個人面談を重視し、悩み等の解決のための支援を行います。**

職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の遠因にならないよう、管理職が定期的な人事評価面談や相談の機会を作り、解決に向けて助言したり相談したりするなど、職員の支援をしています。また、職員が悩みを一人で抱え込まない、職場全体で気軽に相談し合える風通しの良い職場風土をつくって参ります。

不祥事は「人」が起こすものである。したがって、職員一人一人が「不祥事を絶対起こさない」「悩みを一人で抱え込まない」ことを継続的に意識、徹底していくことが最大の防止策であると考えます。

戸頭小学校では、全職員が一丸となって不祥事根絶の協調体制をとり、二度と不祥事を出さない職場、集団の構築に努めて参ります。